

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.12.02-12.13

*記事は東京発行・最終版

CHINA

12月2日(月)

ブラザー、海外調達を拡大
工作機械／中国の実績基に

ブラザー工業は、国内の工作機械事業で海外調達を20%に拡大する。西安市で新工場を5月稼働、カパーなども中国で購入、現地調達が80%。実績を基に国内でも海外調達を増やす。(7面)

12月3日(火)

上海自由貿易区で金融自由化
金利自由化／人民元の自由交換

中国人民銀行は、上海自由貿易試験区で、全国に先駆け、金融自由化を徐々に進める。投機資金に目を光らせるなど、リスク管理も徹底。金利自由化や人民元の自由交換を推進。(時事＝3面)

「モノづくり伝道師」中国派遣
ノリタケ／国内外に伝授

ノリタケカンパニーリミテドは、社内に蓄積したモノづくりのノウハウを各工場に伝承する人材を「スペシャルトレーナー」として認定する。伝道師として国内や中国、タイなどに派遣。(9面)



モノづくりのノウハウを伝授(ノリタケ)



金融企業データ、香港社と連携
野村総研／世界4万4600社

野村総合研究所は、香港の企業情報データを提供するFISLと販売代理店契約。NRIの金融企業DBに財務データを追加。世界で約4万4600社のデータを保有する。(10面)

FPGAボード、中国開拓
東京エレクトロデバイス

東京エレクトロデバイスは、FPGA(書き換え可能な集積回路)搭載ボードの汎用品を2014年をめどに開発する。システム開発・設計を効率化。中国などの新興国市場を開拓する。(11面)

香港・台湾の現法を統合
日立物流／運営体制を強化

日立物流は、香港と台湾の現地法人と、グループ会社であるバンテックの現地法人を統合する。香港と台湾の経営資源を統合することで、運営体制の強化や

効率化を進める。(14面)

12月4日(水)

中国新車販売、大幅な増加
回復が鮮明／日産、最高水準

日系自動車メーカー5社の11月の中国新車販売は、全社が前年同月を上回った。関係悪化で急減したがその反動で大幅な増加が目立っており、回復が鮮明に。日産自動車は過去最高に並ぶ水準。(3面)

中国子会社を清算
ミネベア／業績への影響なし

ミネベアは、キーボード部品を製造していた中国の100%子会社を2015年3月31日付で清算する。従業員は退職または異動が完了している。清算による2014年3月期業績への影響はない。(7面)

東芝、液晶テレビ工場を閉鎖
日本向け

東芝は、日本向けに液晶テレビを生産

する中国の自社工場を閉鎖する。すでにポーランドのテレビ生産子会社を台湾コンパルに売却する方針で、液晶テレビの自社工場はインドネシアのみ。(9面)

ユーグレナ、中国に進出
登録認可を取得／まずサプリメント

ユーグレナは、食品販売事業で中国に進出する。「新食品原料」で登録認可を取得した。ユーグレナを使用した食品販売が可能。サプリメント商品の販売を開始し、順次商品を拡充する。(12面)

12月5日(木)

住友重機、中国販売網を統合
買収したハンセン／減速機

住友重機械工業は、買収したベルギーのハンセン・インダストリアル・トランスミッションズと中国販売網を統合する。大型減速機を中心に相乗効果を高め世界シェア15%に。(6面)

中国依存度50%に低減
三菱マテ／超硬工具の原料

三菱マテリアルは、超硬工具の原料調達で中国依存度の低減を加速する。使用済み工具の再資源化やタングステン鉱石の調達先多様化を進め、中国調達を約10%減の50%程度まで下げる。(13面)

12月6日(金)

中国3Dプリンター団体と提携
マテリアライズ／技術向上

ベルギーのマテリアライズは、中国の3Dプリンター振興団体「中国3D打印技術産業連盟」とパートナーシップ契約。3Dプリンター関連ソフトの提供などで、技術向上を支援する。(8面)

NEC、中国新会社が始動
行政・交通・エネ／ICT開発

NECは、中国スマートシティ向けクラウドサービスを推進する新会社のNEC(重慶)信息系統有限公司が事業活動

を始めた。行政や交通、エネルギーなどの公共向けICT。(10面)

12月10日(火)

ドコモ、中韓と協力3年延長
LTEローミング／早期実現へ

NTTドコモは、中国チャイナモバイルと韓国KTとの3社間での事業協力契約を3年間延長で合意した。日韓韓で「LTE国際ローミングサービス」の早期実現を目指す。(9面)

12月11日(水)

三遠機材、広州に販社
無段変速機部品／日系向け

三遠機材は、広州市に全額出資の販売子会社を2014年3月をめどに開設する。主要取引先の日系変速機メーカーの現地工場向けに無段変速機(CVT)部品の供給、サービス体制を強化する。(5面)

クアルコムがスマホ用MPU
中国に照準／「LTE」対応

クアルコムは、低価格スマートフォン向けMPUの新製品「スナップドラゴン410」を発表した。64bitの処理能力。「LTE」に対応。中国などでの販売拡大を目指す。(時事＝8面)

製菓・製パン原料の卸で合併
兼松／日本メーカー向け

兼松は、製菓・製パン原料の卸売事業で中国に進出する。上海市で食品原料卸売会社のイワセ・エスタとの共同出資会社を設立する。現地の日本の製菓・製パンに原材料を調達、供給する。(13面)

12月12日(木)

新車販売、最高を更新
日本車首位／11月14%増204万3900台

中国の11月の新車販売が前年同月比14.1%増の204万3900台になった。今年3

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は30日(月)に掲載します。

月を上回り過去最高を更新した。日系車のシェアは19.2%と外資系首位を奪還、関係悪化がほぼ回復。(時事＝5面)

井関農機、中国子会社を統合
東風汽車グループ3社と合意

井関農機は、中国の連結子会社の井関農機常州と持ち分法適用会社の東風井関農業機械湖北を2014年1月に事業統合させることで、東風井関の株主である東風汽車グループ3社と合意した。(6面)

12月13日(金)

パナ、シェア10%を目指す
家庭用エアコン／2018年度

パナソニックは、エアコン最大市場の中国で、現状約2%の家庭用エアコンのシェアを2018年度に10%を目指す。家電事業を2018年度に売上高2兆円とする施策の一環。(3面)

コベルコ建機、部品の内製拡大
中国向け減速機

コベルコ建機は、油圧ショベルなど建設機械に使う主要部品の内製を拡大する。中国向け減速機の生産能力を増やすほか、将来はハイブリッド機器の内製も検討していく。(6面)

TELOP

金型部品の研究開発本部
日中共同体制／パンチ工業(4日7面)

中国リース会社管理システム投入
日立システムズ(11日8面)

中国プロバスケのユニホーム採用
帝人／再生ポリ繊維(12日11面)

ASIA

12月2日(月)

京浜金属工業、タイ工場を拡張
車用パネ／日系車部品向け

京浜金属工業は、タイ工場を2014年夏までに拡張する。車用パネを増産する。日系の車部品メーカーからシートに使うパネ部品を新たに受注した。高速・高精度に自動加工。(5面)

韓国KTにLTEローミング
NTTドコモ／来日時

NTTドコモは、韓国KTコーポレーションに高速無線通信「LTE」の国際ローミングインサービス始める。KTユーザーが来日した際にドコモの「クロッシィ」が利用できる。(8面)

12月3日(火)

TDK、海外2社買収
シンガポール・米／次世代HDD部品

TDKは、米国とシンガポールのHDD関連部品メーカー2社を買収した。HDD用サスペンションの部品を拡充。ヘリウムガスを利用した次世代HDDの部品で技術ノウハウ。(3面)

王子、ベトナムUPJVを買収
段ボール・紙コップ／4拠点体制

王子HDは、ベトナムの紙器箱や段ボール箱、紙コップなどを製造・販売するUPJVを買収する。段ボールに加えて紙器も加わる。ベトナム4カ所体制。東南ア19拠点体制。(3面)

横浜ゴム、資本提携協議
韓国クムホタイヤ／共同で技術開発

横浜ゴムは、韓国クムホタイヤと資本提携協議を行うことで合意した。タイヤ関連技術の開発を共同で実施し、研究開発資源の共有と効率的な運用を通じて両社の競争力を高める。(7面)

豊和工業、タイで旋盤チャック
進出の日系企業／更新需要

豊和工業は、旋盤用チャックの海外事業を本格化する。タイでの販売を商社と組んで始める。現地進出の日系企業のチャックの更新需要を狙う。国内や他の新興国での展開も視野に。(8面)

ルート、インドに製造拠点
現地社に出資／一般用目薬

ルート製薬は、インド眼科用医薬品会社シュロフグループ傘下の製造会社ディーブケアヘルスに資本参加した。インドに製造拠点を持つ。ルートは一般用目薬のノウハウをインドで生かす。(12面)

アジア銀行 - 国内地銀を橋渡し
国際協力銀行／取引先の海外展開支援

国際協力銀行は、アジアの銀行との提携網を活用、国内地方銀行の取引先のアジア進出支援を本格化。提携先のベトナム投資開発銀行やベトナムバンクとは、地銀30行との橋渡しを実施。(17面)

1500 耐熱カメラ、印で実証
セキュリティー・ジャパンなど

セキュリティー・ジャパンとオガワ精機は、インドで耐熱カメラの普及・実証事業を実施する。工業炉・ボイラ内雰囲気

温度最高1500度Cまで対応。電力、鉄鋼の発電・エネルギー効率向上。(23面)

12月4日(水)

インドにETC納入
三菱重工／ステッカータイプ

三菱重工は、無線識別(RFID)方式の新興国向けETCをインドに納入し稼働を始めた。インドの全国统一規格に準拠する。フロントガラスに貼り付けたステッカータイプ。(5面)

住商、アルミ事業で攻勢
マレーシア製錬プロ／地金権益増む

住友商事が、アルミニウム事業で攻勢。マレーシアでのアルミ製錬事業への追加出資を決定。第1期に続き、第2期プロジェクトにも参画する。地金権益を積み増し事業基盤を強化。(11面)

アジアの稲、収穫増やす遺伝子
国際農林センターなど

国際農林水産業研究センターなどは、熱帯アジアの稲に収穫量を増加させる遺伝子を発見。大きな穂を持つインドネシアの在来種の稲から熱帯稲品種の収穫量を13-36%増加させる遺伝子。(12面)

日通、カンボジア現法
近隣国とのアクセス向上

日本通運は、カンボジアに現地法人を設立。2014年1月に営業を始める。JITでの部材納入などの物流需要が拡大。近隣国とのアクセスを向上させ、クロスボーダー型の陸路輸送を拡充。(13面)

日韓欧でエコ・エネ研究
欧州委1億7000万円拠出

岡山大学、JAXAなどは、日韓欧の研究者の交流を目的とするコンソーシアムを設立した。エコ・エネルギーをキーワードに16機関が参加。欧州委員会が約1億7000万円を拠出する。(17面)

12月5日(木)

千代田工業、インドネシア進出
シート部品／日本から移管

千代田工業は、自動車シート部品の生産でインドネシアに進出する。設立した合弁会社で量産を2015年に始める。日本から現地の取引先に納入している部品を現地生産に切り替える。(5面)

社内報にタイ語版
シンフォニアテクノ／会社に興味持つ

シンフォニアテクノは、社内報創刊50年を機にタイ語版を発行した。社員の結束を深めるとともに「会社に興味を持ってもらいたい」。年1回発行、約1000部。取引先にも配布。(6面)

メトロール、タイ現法
工具長測定器／東南ア開拓

メトロールは、タイ・バンコクに現地法人を2014年2月設立する。工作機械のユーザーに対して、工具長測定器「ツールセッター」の販売に力を注ぎ、東南アジア市場を開拓する。(6面)

スギモト、東南ア第2拠点
機械工具／国内はM&A

スギモトは、国内外で機械工具を中心とする工業製品の販売を拡大する。国内は販売拠点を増設しM&Aで商品やエリアを拡充。東南アジア地域で2カ所目の現地法人を設立する。(7面)

住宅用LED照明、インド投入
パナソニック／ショールーム開設

パナソニックは、インドで住宅用LED照明器具を発売した。電設資材を扱うグループ会社アンカーエレクトロニカルズが47品番で販売を始め、ショールームも開設した。300品番に拡充する。(11面)

日本の化粧品・酒類 - 台湾に
MTM JAPAN／中国・ベトナムにも

MTM JAPANは、日本製の化粧品や酒類の輸出販売を始めた。主力のベビー用品の購買者に化粧品も販売できると判断。まずは台湾、中国、香港、ベトナムの現地卸売業者に販売。(26面)

12月6日(金)

タイで中小にリース資金
国際協力銀行／三井住友F&L

国際協力銀行と三井住友ファイナンス&リースは、日本の中小企業にタイにおける設備投資を促すため、リース資金を貸し出す契約を締結。融資総額は約40億円。中小の設備投資を後押し。(1面)

IHI、印でLNGタンク2基
同国最大級16万kL／100億円

IHIは、インドで同国最大級の容量16万kLのLNGタンクを、ガス会社GSPC・LNGから2基受注した。100億円を超える。設計・製造・据え付け・試運転を一括で。(8面)

東南アでクラウド連携実証
CTC／自律型DC

伊藤忠テクノソリューションズは、マレーシアとシンガポール間で、ネットワーク経由でIT資源を利用するクラウド連携の実証を1月に始める。DCを仮想的に一つに統合する自律型DC。(10面)

EIZO、液晶モニター開拓
ASEAN／シンガポールに代理店

EIZOは、ASEANでの液晶モニターの営業体制を1月に拡充する。医療用や金融機関用、グラフィックス用などで顧客を開拓する。シンガポールに新たな代理店を設立する。(11面)

日立化成、粉末冶金増産
インドネシア／2輪・4輪車向け

日立化成は、インドネシアで自動車のエンジン周辺や駆動系に使う粉末冶金製品を2015年春に設備増強する。2輪車向けに加え、現地で需要が拡大している4輪車向けを開拓する。(13面)

12月10日(火)

インドネシアアルミ製錬解消
日本アサハ／560億円で売却

日本アサハアルミニウムは、東南アジア唯一のアルミ製錬事業「アサハ・プロジェクト」の合併解消で、インドネシア政府と正式合意。アサハの株式58.88%を約560億円で売却する。(3面)

日本特殊陶業、ハノイに拠点
プラグ・センサー／シェア5割に

日本特殊陶業は、ベトナム・ハノイ市に自動車エンジン点火プラグや酸素センサーを販売する駐在員事務所を開設した。プラグ・センサーともに現地シェアを5割に高める目標を掲げる。(5面)

ユーアイテクニカ、タイ増強
パイプベンダー用金型／フル生産

ユーアイテクニカは、タイのパイプベ

ンダー用金型工場を増強する。4月の稼働後、車部品や電機メーカーからの受注が好調でフル生産が続く。金型が作れるMCなどを導入する。(7面)

SMK、フィリピン増産
車載向けタッチパネル1.5倍

SMKは、フィリピンのクラーク開発庁からフィリピン工場に隣接した工場用地を取得した。生産能力を1.5倍に引き上げる。車載向けタッチパネルなどの量産に備える。(8面)

住友化学、東南アで除草剤生産
水稲用／製剤工程を委託

住友化学は、東南アジアで水稲用除草剤「ゼータワン」の製剤工程を現地メーカーに2015年までに委託する。大分工場で生産した有効成分(原体)を製剤にする工程を現地メーカーに委託。(11面)



ゼータワンを投入したフィリピンの水田

12月11日(水)

三明機工、タイ50%増産
タイカストマシン周辺自動化

三明機工は、タイのアマタナコン工場団地内にあるタイ工場を同団地内で移転、拡張した。アルミニウムダイカストマシン周辺設備の自動化システムなどの生産能力を50%高める。(7面)

インドネシアで鋼管生産
岡島パイプ・豊田通商／月産500トン

岡島パイプ製作所と豊田通商は、インドネシアで鋼管の生産、販売事業を始める。月産500トン。現地に進出する日系自動車部品メーカー向け。現地工場を建設し、2014年11月に操業。(11面)

インドネシアに不織布の新工場
シンワ／年5000トン

シンワは、関連会社の東京メディカルと共同出資でインドネシアに現地法人を設立し、現地でスパンレース式乾式不織布製品の製造・販売する。年間5000トン以上の生産を目指す。(11面)

12月12日(木)

インドネシアでスマコミ
工業団地省エネ／地球環境戦略研など

地球環境戦略研究機関は、北九州市などと、インドネシアのスラバヤ市でスマートコミュニティ事業を始める。工業団地にはコジェネレーションによる分散型電源化を提案する。(1面)

キッツ、印マイクロを買収
販売網を活用／現地日系向け

キッツは、インドのバルブメーカーのマイクロニューマティックスを買収する。全株式を取得する。マイクロの販売網を活用し現地に進出した日系企業への自社のバルブ販売を強化する。(3面)

大豊工業、高効率ライン海外に
エンジン軸受加工／インドネシアなど

大豊工業は、高効率なエンジン軸受の機械加工ライン「RRライン」を海外工場に展開する。インドネシアには2ラインを新設し、2015年に稼働する。中国には日本から1ラインを移設。(5面)

延滞債権管理、東南ア投入
アイティフォー／まずイオン系に

アイティフォーは、システム構築事業で海外市場に参入する。第1弾として東南アジアにパッケージ型の延滞債権管理システムを投入。イオンクレジットサービスの現地拠点に納入する。(8面)

高精細の有機ELパネル量産
鴻海／アップルへの供給視野

台湾の鴻海精密工業は、業界最高水準の高精細さと、スマートフォンやタブレット端末で主流の狭額縁化に対応する有機ELパネルを開発、2015年の量産を目指す。アップルへの供給も視野。(9面)

信越化学、タイ工場を増強
シリコンー貫製造

信越化学工業は、タイのシリコン製造拠点で製造プラントを改良し、中間原料から一貫製造体制を構築する。製造プラントを改良し、中間原料から一貫製造体制を構築する。(11面)

12月13日(金)

関空、アジアLCC誘致
スクートなど／ゲートウエー目指す

新関西国際空港は、シンガポールのスクートなどアジアの格安航空会社を2-3年以内に誘致する。LCCネットワークを拡充し、アジアの活力を取り込むゲートウエーを目指す。(3面)

野村製作所、台湾に生産合併
大型フライス盤／アジア向け

野村製作所は、台湾の大手重電機器メーカーの中興電工と共同で、2014年4月をめどに大型のCNC横中ぐりフライス盤の現地生産を始める。台湾や中国、東南アジアなどアジア向け。(7面)

シンガポールの地下鉄建設受注
五洋建設／270億円

五洋建設は、シンガポールの地下鉄建設工事を3億3700万シンガポールドル(約270億円)で受注した。新路線であるトムソン線の北側終点となるウッドランズ・ノース駅舎やトンネル。(12面)

ジャカルタに病院
偕行会／日本人医師が常駐

医療法人・偕行会グループは、インドネシア・ジャカルタにクリニックを2014年2月に開設する。ジャカルタに開設するのは初。一般内科診療や企業健康診断など。日本人医師が常駐。(32面)

TELOP

フィリピン第2工場が稼働
日本航空電子(2日9面)

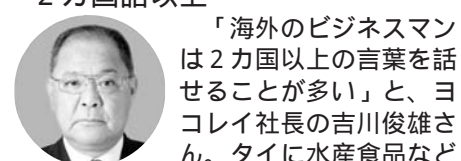
住友化学、韓国合併を子会社化
LED部材(3日13面)

JX金属、台湾新工場が完成
半導体用ターゲット(3日13面)

韓国フィルム特許で勝訴
日立化成(3日13面)

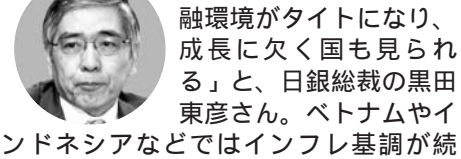
ミャンマー民間銀に新規上場指南
大和証券など(3日17面)

ひど
2カ国語以上



「海外のビジネスマンは2カ国以上の言葉を話せることが多い」と、ヨコイ社長の高川俊雄さん。タイに水産食品などを扱う販売子会社を設立。これを機に「日本にも英語や他国の言語を話せるような人材をもっと増やしていかなければ」と強調する。(3日＝15面)

厳しい一言でチクリ



「一部の新興国では金融環境がタイになり、成長に欠く国も見られる」と、日銀総裁の黒田東彦さん。ベトナムやインドネシアなどではインフレ基調が続き、成長が鈍化しつつある。「(銀行の不良債権など)構造問題にも取り組む必要がある」と、厳しい一言でチクリ。(10日＝15面)